

## 中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

### 学校教育目標

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で  
 ○進んで学び、進んで考え、進んで活用する子を育てます(知)  
 ○感謝の気持ちと思いやりで心をつなぐ子を育てます(徳)  
 ○自分やみんなの命や体を大切にすることを育てます(体)  
 ○公共心や規範意識を大切に、社会の役に立とうとする子を育てます(公)  
 ○コミュニケーション能力を高め、視野を広げていくことができる子を育てます(開)

### 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

<認め合う力>  
 <言語活用能力>  
 <問題発見・課題解決>

### 具体化した資質・能力

進んであいさつする態度                      自分らしさを見つける力  
 自分の思いや考えを相手に伝える力                      問題を発見する力

### 中期取組目標

○子どもたちの対話的な学びを通して、自分の思いや考えを表現できる子どもを育てます。  
 ・1年目は学習の中で自分らしさを見つけられる授業づくりを推進します。  
 ・2年目は子どもたちが問題を発見し、自分の思いや考えを表現する力を育てます。  
 ・3年目は表現することで自分の考えを深めることができるようにします。  
 ○まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。  
 ・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。



### 学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業づくり	①育成を目指す資質・能力を明確にし本時のめあて確認や振り返りを行うことで、子どもたちが主体的に課題に取り組めるようにする。②重点研究テーマを「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」とし、国語科の学習の時間を中心に、対話的な学びを通して自分の思いや考えを表現できる力を育成する。
担当	教育課程部

### 学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる児童生徒の実態  
 ○横浜市学力状況調査では、高学年の方が市の平均を上回っている傾向にあり、学校での学習内容が定着していることが分かる。  
 ○学習意識調査では、教科によるところはあるが、どの学年も概ね市の平均を上回っており、学習に主体的に取り組む態度が育成されているといえる。  
 ○生活意識調査については、どの学年も市の平均を大きく上回っており、きちんとした生活態度や生活リズムで毎日を過ごすという意識が高いことが伺える。  
 ○保護者・児童の学校アンケート結果から、「お子さんは、必要なことを相手に自分から伝えようとしている」や「自分の意見や気持ちを言葉で伝えていますか」の項目に課題を感じていることがわかっている。

(2)これまでの学校の取り組み状況  
 ○学力学習状況調査や日常の評価を行い、重点的に指導することを明確にして個に応じた指導を進め、探究的な学習を行った。  
 ○知的好奇心をもたせ思考力を高め、問題解決を進める学習の流れに、ICTの活用も取り入れた単元構想を工夫した。

### 今年度の目標

○子どもたちが主体的に課題に取り組み、自分なりの課題解決に向かうことができる授業づくりを推進する。  
 ○対話的な学びを重視し、自分の思いや表現を相手に伝えたりできるような力を育成する。

### 目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	下半期
<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、子どもが課題を把握して主体的に取り組めるようにする。</li> <li>○教材との出会いを大切に、自分の思いや考えをもつことができるようにする。また、ペアやグループの友達の思いや考えを相手を見て聴くことができるようにする。</li> <li>○言語活動では、「ことばのたからばこ」を活用し、語彙を増やしていき、自分の思いや考えを伝えられるようにする。</li> <li>○子どもの思いや考えを表現する時間の確保をして、自分の考えをもてるようにする。</li> <li>○何人かの児童に発表してもらったり、教師が例を挙げたりして、具体的なイメージを共有して、子どもが安心して自分の考えを表現できるようにする。</li> <li>○材と関わる時間を十分とることで、自分の考えや伝えるべきことをもつことができるようにする。また、毎日自分の考えを表現する機会を作り、感じたことを言葉にできるようにする。</li> <li>○言語活動を通して、相手に伝える内容を明確にし、目的や意図に応じて言葉を選んだり、文章の構成を考えたりすることができるようにする。</li> <li>○グループ学習に取り組むことで、他者との関りを促し、自分の思いを表現できるようにする。</li> <li>○単元の見直しを立てることで、安心して学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、子どもが課題を把握して主体的に取り組めるようにする。</li> <li>○教材との出会いを大切に、自分の思いや考えをもつことができるようにする。また、ペアやグループの友達の思いや考えを相手を見て聴くことができるようにする。</li> <li>○言語活動では、語彙を増やしていき、自分の思いや考えを伝えられるようにする。</li> <li>○子どもの思いや考えを表現する時間の確保をして、自分の考えをもてるようにする。</li> <li>○何人かの児童に発表してもらったり、教師が例を挙げたりして、具体的なイメージを共有して、子どもが安心して自分の考えを表現できるようにする。</li> <li>○材と関わる時間を十分とることで、自分の考えや伝えるべきことをもつことができるようにする。また、毎日自分の考えを表現する機会を作り、感じたことを言葉にできるようにする。</li> <li>○言語活動を通して、相手に伝える内容を明確にし、目的や意図に応じて言葉を選んだり、文章の構成を考えたりすることができるようにする。</li> <li>○グループ学習に取り組むことで、他者との関りを促し、自分の思いを表現できるようにする。</li> <li>○単元の見直しを立てることで、安心して学習に取り組めるようにする。</li> </ul>